

筑紫シンポジウム

- <日時> 2019年 2月1日 (金曜日) 13:00~17:30
 <場所> 九州大学 筑紫キャンパス 総合研究棟(C-Cube) 1F 筑紫ホール (福岡県春日市春日公園 6-1)
 <言語> 日本語及び英語 (日→英 同時通訳あり)
 <テーマ> グリーンテクノロジーと先端計測科学の交差点
 <プログラム及び講演者>

時間	プログラム・講演者
13:00~13:05	開会の挨拶 大瀧 倫卓 (九州大学グリーンテクノロジー研究教育センター長)
13:05~13:15	グリーンテクノロジー研究教育センターの紹介 大瀧 倫卓 (同上)
13:15~13:25	九州大学シンクロトロン光利用研究センターの紹介 徳永 信 (九州大学シンクロトロン光利用研究センター副センター長)
13:25~14:10	基調1 「リチウムイオン電池が拓く未来の車社会」 吉野 彰 (旭化成株式会社フェロー・九州大学グリーンテクノロジー研究教育センター訪問教授)
14:10~14:40	招待1 「新しい酸素還元反応(ORR)/酸素発生反応(OER)触媒のデザイン」 中嶋 直敏 (九州大学名誉教授) (休憩)
14:55~15:40	基調2 「エネルギー材料・デバイスの放射光解析」 尾嶋 正治 (東京大学名誉教授)
15:40~16:10	招待2 「金属ナノ粒子の原子状態解析の進展と新たな触媒機能の開発」 松村 晶 (九州大学超顕微解析研究センターセンター長)
16:10~16:55	基調3 「Kinetic and Spectroscopic Studies of Catalytic Mechanisms: Hydrodeoxygenation of Biomass Feedstocks on Transition Metal Phosphides」 S. Ted. Oyama (東京大学大学院工学系研究科教授)
16:55~17:25	招待3 「触媒分野における計算技術の活用」 古山 通久 (物質・材料研究機構 エネルギー・環境材料研究拠点 ナノ材料科学環境拠点 技術統合化ユニット ユニット長)
17:25~17:30	閉会の挨拶 副島 雄児 (九州大学シンクロトロン光利用研究センター長)